

2年生 赤沢自然観察実習

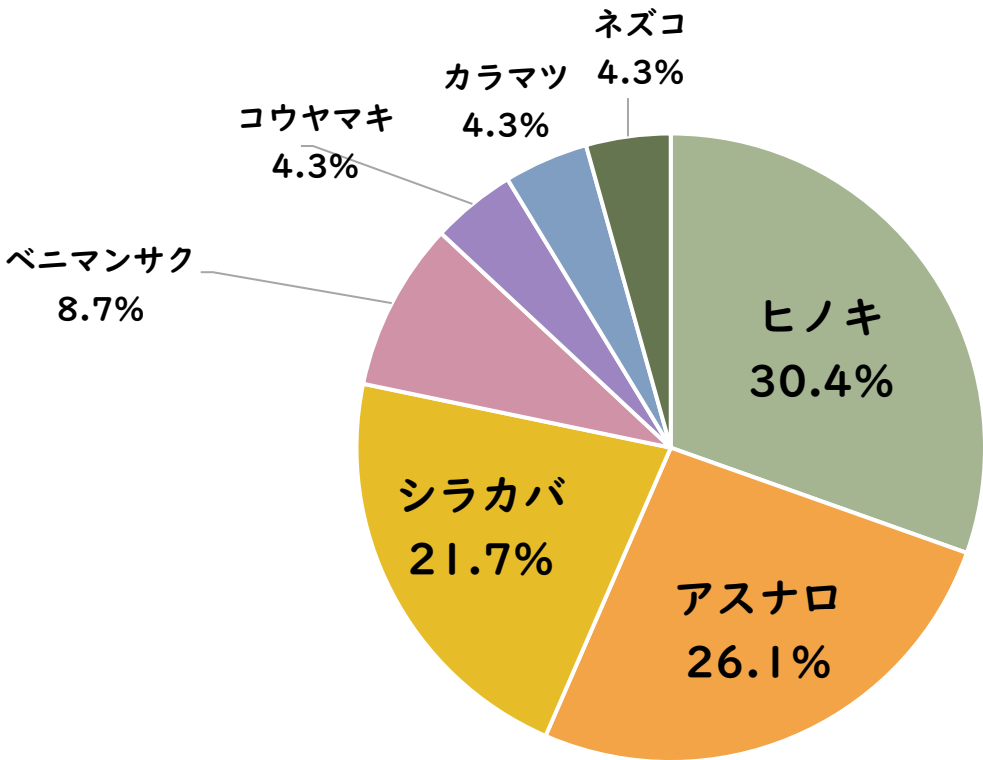
5月25日は、2年生が日本三大美林の一つである長野県上松市の赤沢自然休養林にて自然観察実習を行いました。今回の実習では、木曽五木について事前学習をしてから、式年遷宮や天然林の保護について、実際に巨樹とふれあいながら、営林署の方から多くのことを学ぶことができました。



赤沢・最も印象に残った樹種ランキング2026

順位	樹種名	科 名	針・広・ 常・落	回答数	特徴、雑学など
1	ヒノキ	ヒノキ科	常緑針葉樹	7	木曽檜など天然のものは1本数百万の高値が付くこともある、最高級の建築材。
2	アスナロ	ヒノキ科	常緑針葉樹	6	ヒノキの下にさえ生える極めて強い耐陰性を持つ。明日はヒノキになろうが名の由来。
3	シラカバ	カバノキ科	落葉広葉樹	5	陽樹であり、冷温帯の先駆種としても知られる樹種。白い樹皮が目立ちやすい。
4	マルバノキ (ベニマンサク)	マンサク科	落葉広葉樹	2	樹高2～4mの低木。名前の通り葉は円形で、秋になると鮮やかに紅葉する。
5	コウヤマキ	コウヤマキ科	落葉針葉樹	1	ヨウラクツツジかウスギヨウラクツツジの可能性が高いと考えられる。
6	カラマツ	マツ科	落葉針葉樹	1	陽樹であり、冷温帯の先駆種としても知られる樹種。日本特産では唯一の落葉針葉樹。
7	ネズコ	ヒノキ科	常緑針葉樹	1	ヒノキやサワラよりも幅広だが、アスナロよりは幅の細い葉で葉裏が白くないのが特徴。

赤沢 最も印象に残った樹種ランキング2026





生徒の感想

- ・林野庁の方の説明が分かりやすく面白かったです。特に木曽五木を教えるときの説明が良かったです。
- ・2人でないと抱えきれないほど太いヒノキ大樹と御神木が印象に残りました。
- ・三ツ紐伐りという伝統的な伐倒方法が今でも使われてることと、昔は川に木を流して運んでいたことに驚きました。
- ・日本でチェーンソーが初めて使われた森である事に、一番驚きました。
- ・赤沢の林は、樹木も川もとってもきれいで、マイナスイオンを感じて、癒されました。
- ・木曽五木の特徴と森林浴の効果を知ることができたことと、御神木という神様のような存在の木があることが分かりました。
- ・資料館の樹齢別の切り株標本を見て、伐られる前はどのくらいの大きさと形だったのかをさらに調べてみたいと思いました。